

報告書抄録

ふりがな	あさかしまいぞうぶんかざいはくつちようさほうこくしゅうほう7							
書名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報7							
副書名	人部・峡遺跡第9地点 宮台・宮原遺跡第13地点 新屋敷遺跡第9地点							
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第45集							
編著者名	安田脩一							
編集機関	朝霞市教育委員会文化財課							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2丁目7番22号(朝霞市博物館内) Tel.048-463-2927							
発行年月日	西暦2016年(平成28年)3月29日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
人部・峡遺跡 第9地点	埼玉県朝霞市 浜崎4丁目1272-4	11027	008-013	35度 49分 16秒	139度 35分 53秒	2013年9月18日 ～9月27日	22.16	記録保存 調査
宮台・宮原遺跡 第13地点	埼玉県朝霞市 根岸台2丁目1151-12	11027	008-054	35度 48分 23秒	135度 36分 13秒	2014年4月22日 ～5月1日	106.83	記録保存 調査
新屋敷遺跡 第9地点	埼玉県朝霞市 根岸台8丁目587-1	11027	008-059	35度 48分 11秒	139度 36分 45秒	2015年2月4日 ～2月13日	31.60	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
人部・峡遺跡第9地点	集落跡	弥生時代 ～ 古墳時代	住居跡1軒		土器、鉄製品			
宮台・宮原遺跡第13地点	集落跡	古墳時代 平安時代 (所属不明)	ピット1基 住居跡1軒 竪穴状遺構1基、 土坑1基、ピット1 基、溝状遺構2条		土師器 須恵器、土師器			
新屋敷遺跡第9地点	集落跡	古墳時代 (所属不明)	住居跡1軒、土坑2基 ピット2基		土師器			
要約	<p>人部・峡遺跡第9地点では、弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居跡1軒、住居跡内から土器片を据える地床炉が検出された。また、住居跡床面からは、台付甕の口縁部や板状の鉄製品が出土した。鉄製品は形状から鉋と考えられ、該当期の関東地方では小型の鉄製加工具の出土例は少ない。</p> <p>宮台・宮原遺跡第13地点は、古墳時代のピット1基と平安時代の住居跡1軒のほか、所属時期不明の溝状遺構2条及びそれに付随すると思われるピット、土坑を検出した。溝状遺構は検出された位置関係から方形周溝墓である可能性があり、本調査地点周辺では古墳時代の墓域と平安時代の住居群が重複して存在していることが示唆される。また同遺跡内での調査の多くは荒川低地に面した台地縁辺部であったが、本調査と近接する別遺跡での調査結果もふまえると、西側の小支谷に面した台地上にも別の住居跡が存在する可能性が示唆される。</p> <p>新屋敷遺跡第9地点からは、住居跡1軒と土坑、ピットを検出した。住居跡からは、古墳時代中期ごろの所産と考えられる土師器が出土しており、周辺地点の調査をふまえ、同遺跡において古墳時代の集落が営まれた時間幅を検討するうえで、新たな資料を加えることができた。</p>							